



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さま等と協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.42

地域連携病院③「医療法人 三成会 水の都記念病院」

今回は、徳島市北島田町にある水の都記念病院をご紹介します。

■水の都記念病院の取り組み

水の都記念病院は、昭和2年に佐々木医院として開院以来、地域に根ざした病院として診療しており、総合病院として内科診療部、外科診療部、脳神経外科、整形外科などの診療部門を有しています。

現在、外科領域では、肛門疾患治療、鼠径ヘルニアの腹腔鏡下手術や高齢者の骨折手術に力をいれています。また、脳卒中については、24時間体制でMRI検査を稼働することで迅速な判断を可能にしており、リハビリは、徳島大学病院の医師と連携し、ロボットスーツHAL（ハル）を用いて積極的に行っています。

内科領域では、糖尿病について、昨年度より専門医が常勤して診療をするようになり、より厚い診療が可能となったため、徳島大学病院と連携を深めることが期待されます。

また、がん分野では、大学病院での治療が終わった患者さんの受入を行い、ご家庭に帰るためのリハビリをしています。緩和ケアの必要な患者さんについても、がんリハビリテーション資格を持つスタッフによる疼痛の少ないポジショニングや離床訓練などを通じて患者さんがより快適に過ごせるようにしています。

さらに、このコロナ禍にあっては、陰圧室を1室設け、新型コロナウイルス感染症が疑わしい患者さんの対応ができるようになりました。入院患者さん



には、オンライン面会で対策をしてきましたが、新型コロナウイルスの接種が進んでいることから、2回目の接種から2週間以上たった方については、患者さんと直接面会できるようにし、できるだけ患者さんがご家族と疎遠にならないように努めています。

■新病院の移転について

水の都記念病院は、昨年5月に新築移転しました。新しい病院には、24時間換気システムを採用



受付

し、2つのリハビリルームで外来患者さんと入院患者さんの動線を分けて、新型コロナウイルスにも対応できるようになっています。また、外来を建物の中心に配置したことで、患者さんが回遊できる便利な動線になりました。病棟も個室を数多くしており、新しい病院は、患者さんが病院生活を快適に過ごせることがコンセプトとなっています。

■水の都記念病院からのメッセージ

水の都記念病院を含む三成会グループには、介護老人保健施設、サービス付高齢者向け住宅があり、急性期から療養、退院後の介護サービスにも対応していますので、患者さんに安心して受診していただきたいと思えます。開院以来「かかりつけの患者様重視」を経営理念に掲げており、今後も現状を強化しながら、民間病院の強みも活かしつつ、変わらず地域のための診療をしていきます。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようサポートしています。

問い合わせは

医療法人 三成会
水の都記念病院
徳島県徳島市北島田町
1丁目4番11
TEL.088-632-9299

■説明は
佐々木 克哉 病院長
(ささき かつや)

